

## 保土ヶ谷区児童音楽会に出演しました。 <3年生>

1月26日（月）保土ヶ谷公会堂で、児童音楽会が開催されました。本校では、毎年3年生が出演しています。練習は、9月半ばから始めました。子どもたちに合った曲を選び、64人の声が一つになって、気持ちを込めて歌うことができるように、練習を重ねてきました。途中、ふれあいコンサートと児童集会でも、全校の人や保護者、地域の方に聴いていただきました。

当日の朝、6年生全員からのメッセージが届きました。温かい言葉に勇気づけられました。そして、音楽会が始まるのを、ドキドキしながらも楽しみにして会場に向かいました。

「やさしく、やわらかい声で歌うこと」「歌詞の意味を考えて、気持ちを込めて歌うこと」をめあてに、精一杯歌いました。一つの目標に向かって、学年全員でがんばり、やり遂げた自信を、今後の学校生活にもつなげていきたいと思っています。

プログラム6番 合唱「動物づくしによる体をきたえようソング」  
斉唱「地球まるごとワッハッハ」



<出発前に校長先生と>



<いよいよ保土ヶ谷公会堂に入場します>

(会場内は撮影禁止のため、歌っているところの写真が掲載できません。ご了承ください。)

- ぼくは、「動物づくしによる体をきたえようソング」の「ライオンの落ち着き」が、よく声のでたので、よかったです。(伊藤)
- みんなの前で大きな口をあけてはっきりと歌えたのが、よかったです。(神戸)
- 私は、「こうもりの身軽さ」「のみのジャンプ力」「さめのざんにんさ」のところが音の大きさなどを考えてできたのがよかったです。(榊原)
- きれいな声で歌えたので、よかったです。いろいろな小学校の歌声がよかったです。(古川)
- 歌うとき、体がかちんこちんになって、心ぞうがとまりそうでした。一番よく歌えたのは、「ライオンの落ち着き」というところです。保土ヶ谷公会堂は広かったです。(佐藤太亮)
- 自分ががんばれたと思うところは、友だちの声を聞いていっしょに声をそろえられたことです。ステージに上がるとき、きんちょうして体がガタガタふるえました。楽しく歌って、楽しく聞けました。(諏訪間)
- 私たちの発表の前の発表がすごくて、ぶ台に立ったらきんちょうじょうたいで、歌うのも指きを見るのもまともにできなくなりました。歌ってぶ台からおりておでこをさわったらあつかったから、スポットライトときんちょうであつくなつたのかなと思います。(小野寺)
- 歌っているときに、もち月先生の方をよく見て歌うことができよかったです。他の学校のえんそうや歌もすごくうまく、特に「世界が一つになるまで」がうまかったです。(伊地田)
- 「地球まるごとワッハッハ」の出だしがよかったですと思いました。6年生の言っていたように、さいしょはドキドキしていたけれど、指きをずっと見ていれば楽しく歌えました。歌った後は気持ちよかったです。(古澤)
- 6年生からの手紙の通り、歌を歌い始めたら、きんちょう感がなくなりました。とくに、「体をきたえようソング」の動物ごとに歌うところで、自分の番を本番はちゃんと歌えたのがよかったです。他の学校もきれいな歌声をしていて、全員合唱もとてもいい歌声でした。(周藤)